



師走を迎え、朝晩の冷え込みもめっきり厳しく感じられるようになってきました。令和4年も、あとわずかで幕を閉じようとしています。昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。今年の世相を表す漢字は「戦」。【①ウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射等により「戦」争を意識した年】【②円安・物価高・電力不足や感染症等、生活の中で起きている身近な「戦」い】【③サッカーW杯や北京冬季オリンピックでの熱「戦」、野球界での記録への挑「戦」】というように、同じ「戦」でも、それぞれ感じるイメージは様々です。その中でも、③の熱戦や挑戦の「戦」は、世界中に勇気と希望を与えてくれました。しかしながら、来年以降も、コロナ禍での生活を継続していかなければならないことが予想されます。いつかコロナから解放され、明るく自由な生活が戻ることを強く願うばかりです。

さて、本校では、このような中、コロナによる影響を最小限に抑えながら、通常に近い形での教育活動を実施することができました。子供たちは、様々な活動を通して、一歩ずつ確実に成長しています。普段、当たり前のように接している友だちや先生ですが、学校生活をともに過ごした仲間や先生方との出会いを、ずっと大切にしていってほしいと思います。

子供たちが多くのことを学び、成長できた2学期。充実した日々を送ることができたのも、保護者・地域の皆様に御支援、御協力いただいたおかげと感謝しております。今年度も残り3か月となりますが、新しい年も、鬼怒川小の子供たちをよろしく願いいたします。令和4年も、大変お世話になりました。よい年をお迎えください。



持久走大会、最後までがんばりました！

11月30日（水）に「持久走大会」を実施しました。1・2年生は1,000m、3・4年生は1,300m、5・6年生は1,500mとそれぞれ発達段階に応じた距離に挑戦しました。各自練習の成果を十分に発揮し、完走することができました。当日は、PTA本部役員、研修保健委員の皆様に、コース審判の御協力をいただきました。また、多くの保護者や地域の皆様に、あたたかい御声援をいただきました。「自分との戦い」を制し、最後まで走り抜いた子供たちの姿に感動！みんな本当によくがんばり、大きな成長を感じた持久走大会でした。

【各学年ブロックの入賞者】

◆ 低学年ブロック

(男子の部)

1位：S・Gさん
2位：K・Sさん
3位：Y・Yさん

(女子の部)

1位：N・Mさん
2位：S・Mさん
3位：Y・Kさん

◆ 中学年ブロック

1位：Y・Kさん
2位：K・Rさん
3位：N・Tさん

1位：S・Sさん
2位：W・Yさん
3位：H・Mさん

◆ 高学年ブロック

1位：T・Yさん
2位：A・Sさん
3位：H・Sさん

1位：S・Nさん
2位：F・Sさん
3位：H・Mさん

1月の予定

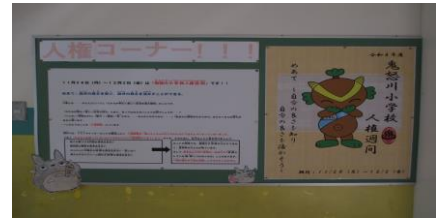
1	日	【元旦】冬季休業
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	【成人の日】
10	火	3学期始業式 安全点検
11	水	登校指導 発育測定1・2年
12	木	
13	金	発育測定3・4年 委員会活動
14	土	
15	日	
16	月	発育測定5・6年
17	火	
18	水	避難訓練
19	木	
20	金	クラブ活動
21	土	
22	日	
23	月	きぬっ子文庫読書週間 (～2/3) 学校給食週間 (～1/30)
24	火	
25	水	移動図書館
26	木	社会科見学3年
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	スケート教室 (全学年)



人と人とのつながいを大切に ～なかよし週間～

鬼怒川小では、毎年11月下旬～12月上旬に「人権週間（なかよし週間）」を位置づけ、人権を尊重することの大切さを理解するとともに、児童一人一人の人権意識を高める取組を行っています。今年も、「自分のよいところを知ろうカード」「人権週間振り返りカード」「なかよしの木の掲示」「あいさつ運動」「人権に視点をあてた道徳の授業」「人権作文の朗読」「学年便りによる啓発」等を実施しました。特に「なかよしの木」の取組では、互いの思いやりやよさに気づき、たくさんの葉をつけることができました。友達のよいところに気付くって素晴らしいことですね。

この1週間で学んだことを、これからの生活に生かして欲しいと思います。



～たくさんの学び～ 臨海自然教室・5年

12月7～9日に、5年生が「臨海自然教室」に行ってきました。茨城県にある「とちぎ海浜自然の家」で、毎年5年生を対象に行っています。2泊3日天候に恵まれ、海を目の前に、最高のロケーション、環境の中でのプログラムでした。「塩作り」「焼き芋作り」「館内ウォークラリー」「カレー作り」等、仲間と協力、助け合いながら活動することができました。5年生の友達への思いやりや助け合う気持ち、協力する姿は、とても素晴らしかったです。自然の家の先生方にも、お褒めの言葉をいただきました。

3日目は、自然の家とお別れし、「茨城空港見学」「笠間焼体験」と盛りだくさんでした。3日間を通して、クラスの絆が深くなり、素晴らしい思い出ができました。この経験を生かし、今後、鬼怒川小のリーダーとして育てて欲しいと思います。



ふくろう彫刻贈呈式…Aさんありがとうございました

このたび、チェーンソーアート作家のA・Kさんより、ふくろうの彫刻を寄付していただきました。彫刻は、高さ185cmの木像で、チェーンソーのみで彫った白いふくろうが木に止まっているデザインです。Aさんは、月あかり花回廊に作品を出展しています。月あかり花回廊で鬼怒川公園を訪れた際に、本校の児童が地域の清掃活動をしたり、ポイ捨て防止の看板作成をしたりして地域に貢献している姿に感動し、今回の寄贈を申し入れてくださいました。「児童が長く親しめる彫刻」をお願いしたところ、児童が像の隣に立つことで成長が見取れるものが仕上がりました。像は、職員玄関に設置。休み時間になると子供たちが像の周りに集まり、自分の身長と比べて親しんでおり、すでに本校のシンボルになっています。これからも、ふくろう彫刻が、児童の成長を見守ってくれることでしょう。Aさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。心より御礼申し上げます。



※今回の寄贈については、先日、下野新聞（12/18付）にも掲載されました。